

第四八回日本国語教育学会 西日本集会大阪大会 開催案内

- 一、日時 二〇二四年六月一日(土) 一〇時分～一七時三〇分
- 二、開催形式・場所 対面・大阪教育大学天王寺キャンパス(〒543-0100 大阪市天王寺区南河堀町1-88)
- 三、大会テーマ 今求められる「国語科の学び」とはどのようなものか？
——「深い学び」を促進する国語科固有の「内容」のありかを求めて——

四、大会プログラム

●九時三〇分～受付

●十時〇〇分～十二時一五分 実践発表分科会 国語科でこそ拓くことができる言葉の学びを求めて

分科会①読みの主体性を開発する入門期・低学年の学習指導の取り組み

大釜雅子(豊中市立豊島小学校)「語り手になって読む『サラダでげんき』の授業―もう一人登場させてみよう―」

神田恵美奈(豊中市立箕輪小学校)「一年生からの批判読み―『子どもをまもるどうぶつたち』より―」

分科会②演劇的アプローチによる読みの授業開発

馬場廣之(大阪教育大学附属池田小学校)「演劇的手法による説明的文章の「書きぶり」と出会う授業―『世界にはこる和紙』の筆者との対話―」

高井大輔(大阪市立加美南部小学校)「演劇的手法を通じて『大造じいさんとがん』を読み味わう」

分科会③読む営みを拡張する読書・マルチモータルアプローチの可能性

小山 梓(茨木市立中津小学校)「読み深め、読み広げる並行・発展読書単元の実践―『かもとりごんべえ』(小二)／『ヒロシマのうた』(小六)を題材に―」

高木麻里(守口市立守口小学校)「読解と表現をつなぐマルチモータルアプローチの試み―単元『伝統工芸のよさを伝えよう』を中心として―」

分科会④ICT・思考ツールを活用した読解指導単元の開発

寺田桃子(藤井寺市立藤井寺南小学校)「語られなかった語り」を読む『海のいのち』の授業―リーフレット・手記の創作を通じて―」

樋口綾香(池田市立神田小学校)「探究的な学びに焦点を当てたICT活用の可能性と国語科教育への応用―『たずねびと』の実践を中心に―」

分科会⑤小中連携教育への眼差し―【語り】への挑戦①―
橋口周二(和泉市立緑ヶ丘小学校)「注目の多い料理店」の授業改善の試み―【山猫軒の間取り図】・【山

猫の子分の報告書】作りを中心として―」

広瀬章子(大阪市立新北島中学校)「『トロッコ』の授業―円環する語りの構造を読む―」

分科会⑥小中連携教育への眼差し―【語り】への挑戦②―

瀬田貴生(八尾市立東山本小学校)「『鳥獣戯画』を読む」の授業開発―高畑さんのゴーストライターになる―」

宮内史代(大阪市立瑞光中学校)「模擬裁判による『少年の日の思い出』の授業―【語り】を相対化するこ

とによって【僕の罪】を再考する―」

●一三時三十分～十五時三〇分 ワークショップ 国語科教科内容を耕す教員研修の開発

ワークショップ①井上博文(大阪教育大学)「文体・話体に着目した教材テキストの分析」

ワークショップ②成實朋子(大阪教育大学)・小路口真里美(大阪教育大学)「再話(解釈)―行為をうながす創作学習の提案―『イソップ寓話』をめぐる二つのワークショップ―」

ワークショップ③堀 淳一(大阪教育大学)「古典文学教材への新しいアプローチ―『春はあけぼの』・『仁和寺にある法師』を用いて―」

ワークショップ④山元隆春(広島大学)「物語・小説教材の〈何を〉〈へいかに〉読むかを語り合う」

ワークショップ⑤植山俊宏(京都教育大学)「合理的な論理的文章(説明的文章)の読み方―謎解き読み―」

ワークショップ⑥住田 勝(大阪教育大学)「【初任者向け】読みの教材研究・授業づくり入門講座」

●十五時五〇分～一七時三〇分 全体会

講演①「マルチモータル・アプローチが拓く国語科学習指導」

松山雅子(大阪教育大学名誉教授・四天王寺大学教授)

講演②「言語生活の変容と探究的言語活動」

桑原 隆(筑波大学名誉教授・日本国語教育学会会長)

五、参加費 一般 三〇〇〇円／学生 一〇〇〇円

※懇親会を予定しております(一般三〇〇〇円／学生一〇〇〇円)。

六、参加申込方法 当日参加受付もいたしますが、運営の必要上、参加人数を把握するために、事前申込にご協力くださいませ。下記のQRコードからお申込みください。

七、お問い合わせ先 大阪教育大学・村井隆人(murai-t60@ex.osaka-kyoiku.ac.jp)

